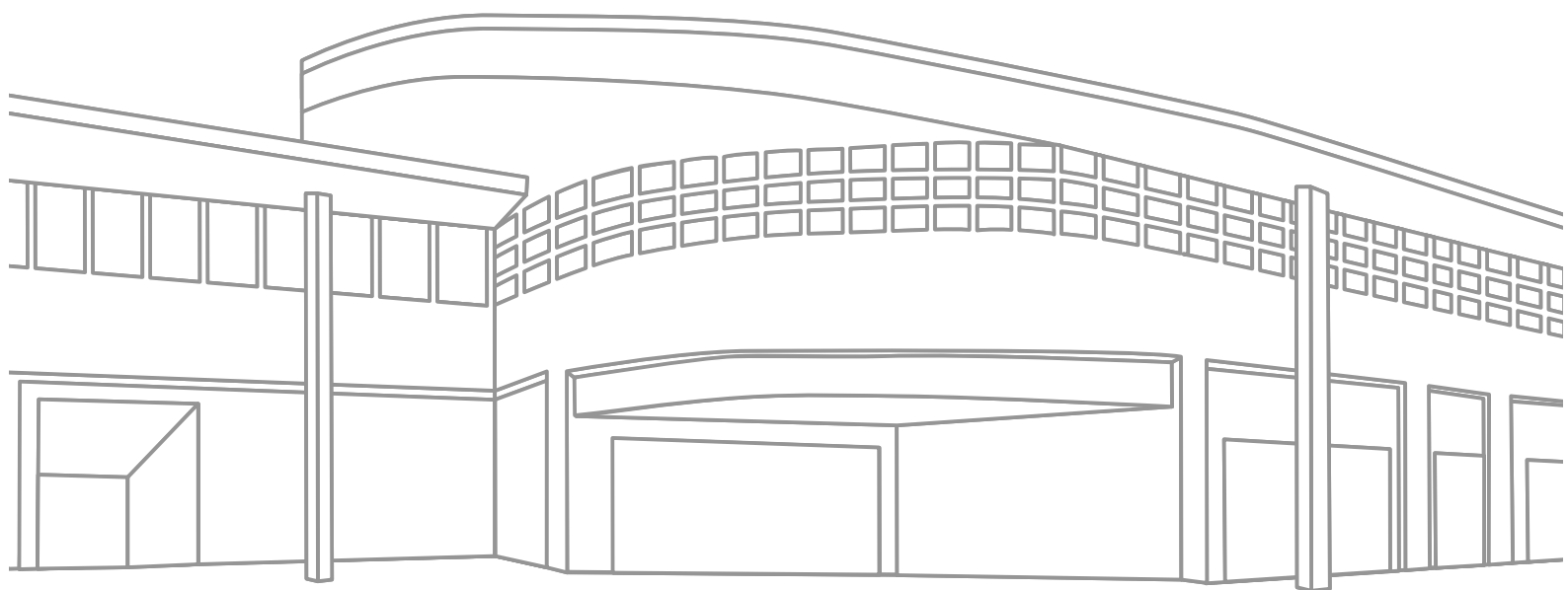


京都精華大学情報館 年報

2025 年度



Kyoto Seika University
Library and Information Center



京都精華大学情報館

はじめに

■館長より挨拶

情報館館長 安田昌弘



文部科学省は2022年から23年にかけて「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方」について検討し、23年に「審議のまとめ」、24年に大学図書館の「デジタル化」に向けた2030年までのロードマップを公開した。情報館もこれからはDXの流れに乗っていく必要がある。ただし、「精華大」らしくそれをする必要がある。

一連の検討では、図書館内にとどまらず大学全体での組織連携や適切な人材の登用・育成、さらには大学図書館間での協力が前提とされており、ただ単に所蔵資料をデジタル化すればよい、という話にはなっていない。

まず、大学が図書館利用者のニーズを整理して「スキーマ」を策定し、それに沿って他の大学図書館と棲み分けをしていくことになる。物理的な「場所」の制約を超え、オンラインでどこからでもアクセスできる大学図書館（≒データベース）を考えた時、データが重複しては利用価値が生まれないからだ。

周知の通り、2028年度から本学初の通信制学部が設置される（2027年1月設置認可申請予定）。全国各地、世界各地から学生が集まるということは、つまり「木野以外の多様な場所」で情報館利用のニーズが生まれることを意味するだろう。一般書籍や論文等については、電子書籍の貸出サービスや研究リポジトリを導入すれば対応出来るが、高価な文献や稀少資料などをどうするか…。著作権法整備や他大学の動向などの文脈を把握しつつ、本学にできることをまとめねばなるまい。

その一方で、従来通りキャンパスに通学してくる学生たちにとっては、情報館はこれまで以上に頼れる制作・研究の支援機関である必要がある。DXによって希薄化していく「場所」としての情報館の意義をどう作り出していくか、ということである。

リアルな場所での読書体験がヴァーチャル空間でのそれより必ず優れている、という理由はない。一つ一つ図書館を回るよりは、複数の図書館に同時に検索をかけ、関連資料を一気に入手できるデジタル空間のほうが圧倒的に便利である。一方で、司書と相談したり、探していた書籍の横に別の面白そうな書籍を見つけたり、ページの隅に先人が書き込んだメモに触発されたり、偶然友達に会ったり、新聞や図録を机の上に広げて一望するという経験はスマホやPCの画面では難しい。

どちらが優れているという話ではないが、両者が共存する社会を前提とするのであれば、「場所」としての図書館での経験をより味わいやすくなるような仕掛けの布置連関を丁寧に考えていく必要があるだろう。

そのために、手近なところでZINEアーカイブ、アナログレコード試聴会、CDプレイヤーの貸出などを始めた。他にも学生による館内ラジオ、公開の読書会／研究会、リペアカフェ、生成AIの利活用／リテラシー向上のための公開ワークショップなども考えている。

デジタルにせよアナログにせよ、情報館は時間と空間の肌理の感じられる場所、そこから利用者の好奇心や表現意欲の芽生える場所であるべきだと思う。

Topics

■ZINE 交換会と ZINE TALK を開催

2025 年度より ZINE やリトルプレスの収集に力を入れていくこととし、ZINE の交換会および ZINE TALK を開催した。ZINE 交換会に出展した参加者から参加料の代わりに出展した ZINE を 1 部寄贈してもらうこととしたことと、ZINE TALK のトークゲストに ZINE の選書を依頼し、この 2 つの方法を主として ZINE の収集をすすめた。

収集した ZINE は、ZINE コーナーを新設し、2025 年度末時点で ZINE の所蔵点数は 99 点となっている。

【開催概要】

○ZINE 交換会第 1 回

開催日時：2025 年 7 月 31 日（木）～ 8 月 2 日（土）
10 時～ 20 時※最終日 8 月 2 日（土）のみ 18 時まで
出展者数：11 団体

○ZINE TALK01

開催日時：2025 年 8 月 1 日（金）18 時 30 分～ 20 時
ゲスト：小田晶房氏（印刷工房 hand saw press Kyoto 主宰）
野中モモ氏（翻訳者、ライター）

○ZINE 交換会第 2 回

開催日時：2025 年 9 月 25 日（木）～ 9 月 27 日（土）
10 時～ 20 時※最終日 9 月 27 日（土）のみ 18 時まで
出展者数：9 団体

○ZINE TALK02

開催日時：2025 年 9 月 27 日（土）13 時 00 分～ 15 時 00 分
ゲスト：六野明日香氏（ぽんつく堂主宰）
山本佳奈子氏（オフショア主催、ライター・編集者）

○ZINE 交換会第 3 回

開催日時：2025 年 11 月 27 日（木）～ 11 月 29 日（土）
10 時～ 20 時※最終日 11 月 29 日（土）のみ 18 時まで
出展者数：6 団体

○ZINE TALK03

開催日時：2025 年 11 月 29 日（土）15 時 00 分～ 17 時 00 分
ゲスト：村上潔氏
（立命館大学客員研究員、先端総合学術研究科非常勤講師、ジンカルチャー研究者）

○ZINE 交換会第 4 回

開催日時：2026 年 1 月 27 日（火）～ 1 月 28 日（水）
10 時～ 20 時
出展者数：5 団体



■ アナログ・レコードリスニングセッションでLPレコードの利用促進

ストリーミングやデジタル再生が中心となっている近年の音楽体験の中、本企画では、「レコード」を学生や教員がレコードを持ち寄り、実際にターンテーブルで針を落としながら音楽を聴くことで、アナログならではの音質・ジャケットデザイン・レコードを扱う所作などを体感するというイベントを開催した。

「音楽を聴く」という行為を通じて、世代やジャンルを越えた交流を生み出す場を目指した。

【開催概要】

「ANALOG RECORD Lisning Session2025 ～レコードに触れて、掛けて、聴こう～」

開催日時：2025年11月28日（金）18：00～19：30

主催者：おおひなたごう先生（マンガ学部教員）

参加者数：21名

内容：

○Lecture

About Analog Records／おおひなたごう（15分）

○TALK & SPIN

1. 学生（デザイン学部）

PLOHO 『WHEN THE SOUL SLEEPS』より『VETER』

DAITE TANK(!) 『PROFESSIONAL』より『KREPOST』（15分）

2. 学生（マンガ学部）

山下達郎 『FOR YOU』より『LOVE TALKIN'』（10分）

3. 教員（マンガ学部）

YMO 『ライディーン』『東風』（15分）

4. 職員（情報館）

サン サンス 『組曲「動物の謝肉祭」』（10分）

5. 教員（メディア表現学部）

G. ロッシーニ 歌劇『セビリアの理髪師』より序曲（SP盤）

マディー・ウォーターズ『フーチー・クーチー・マン』（SP盤）（15分）

6. 教員（マンガ学部）

井上陽水『氷の世界』より『氷の世界』『帰れない二人』（15分）



■貸出企画「かりちゃお♪もらっちゃお♪」を開催

情報館の資料（図書、雑誌、CD）を借りて一定数のスタンプを集めると、情報館のオリジナルグッズがもらえる貸出促進を目的としたイベントを実施した。

【開催概要】

期間：2025年3月25日～5月31日

※開始日は2024年度内だが、イベントとしては2025年度のものとする

参加数：本イベントの参加数はスタンプカードの配布数を参加数とした

合計 93 名（うち、新入生 49 名）

※ コンプリート達成者 4 名

（学生：1 名 [新入生]、教職員：1 名、一般利用者：1 名、不明：1 名）

■体験型イベント「ジブン本棚」を開催

展示台 1 台を参加者に貸出し、情報館所蔵資料からおすすめ本を参加者に紹介してもらう「ジブン本棚」を利用者に作ってもらうイベントを実施した。

参加者以外の利用者には、新しいジャンルの資料に出会う機会となることを目指した。

【開催概要】

期間：2025年6月16日（月）～7月19日（土）

場所：情報館 1F 閲覧室

参加数：学生 1 名 非常勤教職員 3 名



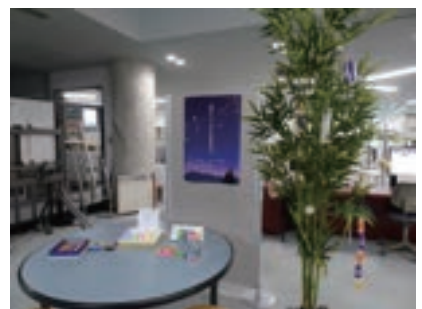
■七夕企画

設置した笹に利用者が願い事を書いた短冊を飾るイベントを実施した。短冊を自由にデザインしてもらえる形を採用した。イベント後の持ち帰り希望にも対応した。

【開催概要】

期間：2025年6月16日（月）～7月7日（月）

場所：情報館 2F 階段前



■選書イベント「情報館大賞－みんなの選書会－2025」を実施

書店より図書を借受、展示し、利用者に情報館で所蔵してほしい図書を投票形式で選んでもらう投票型選書イベントを実施した。

【開催概要】

投票期間：2025年9月29日（月）～10月30日（木）

得票数：238票

結果発表期間：2025年11月24日（月）～12月24日（水）

受入・展示点数：67点



■古本市開催

情報館で除却された図書資料を一律100円で学園祭「木野祭 2025」の参加者に販売を行った。

美術書などの専門書以外に、文庫や新書も対象とした。

前年開催時の売上点数の約169%となり、盛況であった。

【開催概要】

期間：2025年11月1日（土）～11月2日（日）

場所：情報館エントランス

売上点数：888点（2日間合計）



■現地ミャンマーの若者と繋いでのトークイベント『自由な表現活動について考える』を開催

情報館での展示は3回目となる申請展『WART展 2026』の期間中にミャンマーの若者とオンラインでトークイベントを実施した。ミャンマーの情勢とミャンマーから近隣の国へ避難して生活している若者の現状や自由な表現活動について話を聞き、参加学生から現地の同世代の若者への質問などをする機会ももった。

【開催概要】

期間：2026年1月20日（火）14：40～16：10

場所：情報館 2F 企画展示発表スペース

主催：自由と平和な表現活動を支援する団体 WART

共催：京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター

■資料リユース企画「本と福の縁結び」を実施

【開催概要】

期間：2026 年 1 月 5 日（月）～ 1 月 31 日（土）

除却後の資料のリユースイベントとして「本と福の縁結び」を開催した。

リユース資料を持ち帰ると情報館オリジナル缶バッジ付きのおみくじがもらえる新年のイベントを実施した。合わせて参加者には、アンケートを実施した。

参加者数は、前年度比 43%アップの 136 名となった。



■資料保存環境の向上

1. 集密書架の改修工事

2025 年度より、BIF の電動集密書架を手動書架に改修する工事を実施した。

集密書架を 4 ブロックにわけ、4 ケ年計画で電動集密書架から順次手動集密書架へ変更していくこととなる。

1 年目にあたる 2025 年度は、製本和雑誌が配架されている書架の入替を実施した。

2. 保存書庫カビ問題の対策

カビの発生が発見された保存書庫について対策を実施した。

専門業者株式会社 SIC による保存書庫内書架棚上や床などの清掃およびカビ発生資料のカビ拭き取り作業を実施した。更にカビを予防する薬品フォーダッシュによる噴霧と付着カビ数を調査分析を行った。

付着カビ数が検体採取地点 8 か所において、対策実施前は多いところで 70CFU/100 cm²であったのに対し、対策後はすべての検体採取地点において 10CFU/100 cm²未満と清浄な状態となっている。

今後 1 年間で計 4 回の経過観察のための調査分析が行われる予定である。また、今回の除菌作業で清浄された環境を保つために保存書庫内 2 ケ所にサーキュレーターと温湿度計、除湿器を設置し、環境を保てる対策も合わせて講じた。

■ オンライン資料の拡充

2025 年度はオンライン資料の充実を図るために新しい契約データベースと電子書籍を購入した。また、ホームページにこれまで掲載していなかったフリーアクセスのデータベースも掲載を増やし、ホームページ上から簡便にアクセスできるようにした。新たに利用できるようになった資料は以下のとおり。

- 契約データベース 国立国会図書館デジタルコレクションーデジタル化資料送信サービス
京都新聞データベース G-Search
ERDB-JP KAKEN 科学研究費助成事業データベース
- 電子書籍 LibrariE

■ 情報館ホームページの見直しと SNS 発信の充実

情報館のホームページを見直し、更新した。

トップ画面「お知らせ」「イベント・展示情報」の新着情報 10 件をピン止めして、新しい情報にアクセスしやすくした。

また、オンライン資料のページにおいてタブ毎の内容を見直し、資料の説明の修正や、使い方マニュアルを追加、利便性をよくした。その他、SNS 発信として「X」と「Instagram」で「イベント・展示のお知らせ」、「情報館の変」「情報館のコレ知ってる？」など、活発に更新している。



https://x.com/johokan_seika



https://www.instagram.com/johokan_seika/

■ ガイダンス・講習会

新入生や大学院生（人文学研究科生）対象の「大学入門」において情報館ガイダンスを実施した。それ以外には、国際文化学部とメディア表現学部を対象に情報館ガイダンスを実施した。また館内講習会として7月に「How to 情報館 mini」、月に「情報館のなんでも相談会」を実施した。

【開催概要】

○新入生対象情報館ガイダンス（大学入門）

- 対 象 : 2025 年度新入生
- 日 時 : 2025 年 4 月 7 日（火）11:20-11:50 / 15:20-15:50
- 内 容 : 新入生オリエンテーション「大学入門」の一環として、全学部の新入生を対象に実施した。

○国際文化学部対象 情報館利用レクチャー＋情報館ツアー

- 対 象 : 国際文化学部
- 日 時 : 2025 年 4 月 14 日（月）14:20～17:10（左記時間内で計 3 回実施）
- 内 容 : 導入プログラム「国際文化学部ハッシュタグプログラム」のひとつとして、学部からの依頼で実施した。
内容としては「情報館利用レクチャー」（30 分）と「情報館ツアー（20 分）」を 3 グループに対して実施した。

参加人数：102 名

○メディア表現学部 基礎実習Ⅰ 情報館ガイダンス

対 象 : メディア表現学部

日 時 : 2025 年 5 月 14 日 (水) 16:20 ~ 17:50
2025 年 5 月 21 日 (水) 16:20 ~ 17:50
2025 年 5 月 28 日 (木) 16:20 ~ 17:50

内 容 : PowerPoint を用いながら、情報館の基本的な利用方法や各種資料の探し方、また実際の検索方法やデータベースの利用方法について実習問題を用いながら、それぞれ説明を行った。実習課題は 3 問ほど用意した。

参加人数: 178 名

○How to 情報館 mini 2025 SUMMER

対 象 : 学生 (学部生、大学院生)、教職員、一般利用者

日 時 : 2025 年 7 月 7 日 (月) ~ 7 月 31 日 (木) 10:00 ~ 17:00 ※ 土日除く

場 所 : 情報館 2F 図書カウンター (カウンター PC2 台を使用)

内 容 : 「レポートの為に集めたい資料がうまくヒットしない」、「情報館に所蔵していない資料が見たい」といった利用者に、蔵書検索システム (OPAC) や契約データベースの使い方といった新聞 / 雑誌 / 図書 / 論文など各種資料の調べ方をレクチャーした。

また必要に応じて京都府立図書館などの公共図書館の活用を勧めた。

参加者には「レポートの書き方入門」、「レポートの情報収集入門」の 2 種類の冊子や「ブラウジングマップ」を配布した。

参加人数: 計 10 名

○調べかた相談会

対 象 : 学生 (学部生、大学院生)

[How to 情報館 mini 2025 期間の水曜日]

日 時 : 2025 年 7 月 9 日 (水)、16 日 (水)、23 日 (水) 12:10 - 13:00

場 所 : 情報館 3F 小演習室

内 容 : 「How to 情報館 mini 2025 SUMMER」の開催に合わせ、個別相談会に近い形で実施した。カウンターでの「How to 情報館 mini」に比べ、ある程度自分で調べることができる学生を対象とした調べかたの相談会とした。

○情報館のなんでも相談会

対 象 : 学生 (学部生、大学院生)、教員、職員

日 時 : 2025 年 12 月 01 日 (月) ~ 05 日 (金)、15 日 (月) ~ 19 日 (金)
2026 年 01 月 14 日 (水) ~ 16 日 (金)、26 日 (月) ~ 30 日 (金)
※12:20 - 12:50 の時間帯で実施

場 所 : 情報館 2F コミュニティスペース

内 容 : 「情報館には何でも相談していい」という印象を抱いてもらうことを目的とし、情報館でできることについての疑問や相談、「製本ができると聞いたけどどこでできるのか」や「情報館にない本を利用したい」といったもの、に情報館スタッフが答える相談会として開催した。

■研修・シンポジウム参加

○第 34 回京都図書館大会「図書館 × 地域連携の可能性」

日時 : 2025 年 11 月 10 日 (月)

会場 : 京都府立京都学・歴彩館

内容 : 基調講演 「近未来のまちとそこにある図書館」

三浦 丈典 氏 (株式会社スターパイロッツ)

事例発表①「図書館から広がる観光まちづくり」

福永 香織 氏 (公益財団法人日本交通公社観光研究部)

事例発表②「学校図書館から考える持続可能な地域連携」

大槻英美代 氏 (京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎)

事例発表③「地域に開かれた大学をめざして

～広小路キャンパス活性化プロジェクトの取り組み～」

大瀧徹也氏 (京都府立医科大学附属図書館)

パネルディスカッション

京都府立京都学・歴彩館館内見学

○「大学図書館と防災（資料の災害対策編）～日々の対策から災害救済まで」

日時 : 2025 年 12 月 15 日 (月) ※オンライン形式

内容 : 基調講演「災害から資料を守り、救うために」

眞野 節雄 氏

(前・東京都立中央図書館資料保全専門員、前・日本図書館協会資料保存委員会委員長)

○2025 年度大学図書館シンポジウム

日時 : 2026 年 1 月 9 日 (金) ※オンライン形式

内容 : 基調講演「国立国会図書館が目指すデジタル情報基盤とは」

倉田敬子氏 (国立国会図書館長)

大学図書館からの報告

1. 「研究資源・成果のデジタル・コンテンツの拠点集積から知の場の生成、
そして相転移へ」

引原隆士氏 (京都大学理事・副学長 (情報基盤・図書館担当))

2. 「大学教育におけるデジタル基盤の可能性」

畠山珠美氏 (元国際基督教大学図書館長、元事務局長)

パネルディスカッション

登壇：倉田敬子氏、引原隆士氏、畠山珠美氏、田村俊作氏 (石川県立図書館長)

モデレータ：竹内比呂也 (千葉大学副学長・附属図書館長)

○K-Libnet 関連研修・会議など

令和 7 年度図書館・読書施設等職員 レファレンス研修 (初級) 研修 (2025 年 9 月 19 日)

令和 7 年度図書館・読書施設等職員 レファレンス研修 (中級) 研修 (2025 年 12 月 10 日)

令和 7 年度相互協力実務担当者会議 (2026 年 2 月 5 日)

令和 7 年度図書館・読書施設巡回 (2026 年 3 月 3 日)

企画展示 Exhibitions

■企画展示

展示タイトル：アートで巡る食の世界旅行

会期：2025 年 4 月 7 日～ 4 月 20 日

内容：世界の食についての作品展示と国立民族学博物館よりみんなぱっくを借受けたものを展示

* みんなぱっく＝世界各国、地域の民族衣装や生活の道具などと、それらにまつわる情報や解説がパックされている新しい世界と出会い、ふれあうためのカバン。国立民族学博物館が貸出している。



展示タイトル：京都のまち散策

会期：2025 年 5 月 1 日～ 6 月 9 日

内容：貴重書・関連資料展示。
貴重書『京の百景』『再撰花洛名勝圖絵』『きやうと』『京都めぐり』と京都のまちづくりに関連する一般図書を展示



展示タイトル：国宝・絵巻

会期：2025 年 6 月 12 日～ 7 月 28 日

内容：貴重書・関連資料展示。
貴重書『伴大納言絵詞』『信貴山縁起絵巻』『国宝鳥獣戯画卷』その他と関連図書を展示



展示タイトル：文豪を読む夏

会期：2025 年 7 月 30 日～ 9 月 19 日

内容：貴重書・関連資料展示。
貴重書『新選名著復刻全集近代文学館』『日本児童文学館：名著復刻』『セロ弾きのゴーシュ：原色複製：草稿全 32 葉』と関連する一般図書を展示



展示タイトル：めくる、14 人の世界展

会期：2025 年 9 月 24 日～ 10 月 11 日

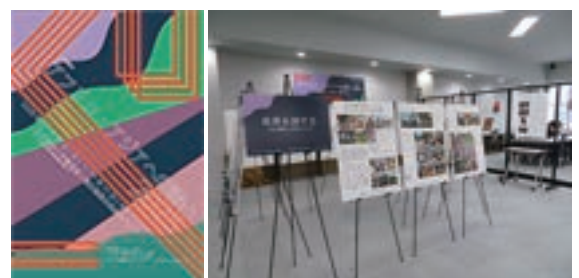
内容：プロダクトデザイン学科ライフクリエーションコース学生によるブックデザイン作品展示



展示タイトル：アフリカ・アジアへの誘い 2

会期：2025 年 10 月 20 日～ 11 月 11 日

内容：アフリカアジア現代文化研究センター研究活動発表展示



展示タイトル：ゼミ生展

会期：2025 年 11 月 19 日～11 月 25 日

内容：ストーリーマンガコースゼミ生による
成果発表展



展示タイトル：嵯峨大念佛狂言に伝わる古面

『京の大念佛狂言を彩る面』

会期：2025 年 12 月 1 日～12 月 8 日

内容：嵯峨大念佛狂言保存会主催。
嵯峨大念佛狂言で伝わる面についての展示。
京都市内複数箇所での巡回パネル展。



展示タイトル：嘘つき京都リアル

会期：2025 年 12 月 12 日～12 月 25 日

内容：マンガ学部アニメーションコース創作実習の
成果発表展。



展示タイトル：WART 展 2026

『それでも、僕らは色を塗る』

会期：2026 年 1 月 14 日～1 月 29 日

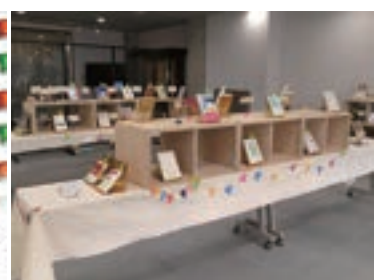
内容：研究成果展示。表現を制限される中でなお、
表現することをあきらめないミャンマーの
若者の作品展示。期間中現地とつないでの
トークイベントも実施した。



展示タイトル：本でつなぐ一乗寺⇄京都精華大学

会期：2026 年 2 月 5 日～2 月 16 日

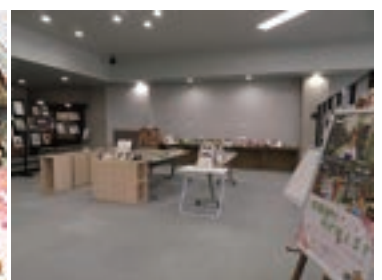
内容：司書課程『図書館サービス特論』受講生が
本を選書し、作製した帯をつけた資料を展示。
情報館内所蔵の資料も合わせて展示。



展示タイトル：情報館で何が使える？

会期：2026 年 3 月 9 日～5 月 8 日

内容：情報館の所蔵資料を紹介する展示。
新入生や普段情報館を使い慣れていない
学生へ情報館で何ができるのかを知って
もらうために資料種別毎に配置、紹介。



■資料紹介展示

展示タイトル：マナー向上のための展示

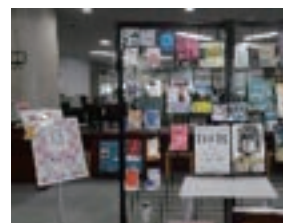
会期：2025 年 3 月 25 日～5 月 31 日

内容：利用マナーや資料の取り扱いについて展示。

展示タイトル：情報館を歩いてみよう

会期：2025 年 3 月 25 日～5 月 2 日

内容：貸出イベント「かりちゃお🎵もらっちゃお🎵」連動展示。



展示タイトル：万博特集

会期：2025 年 5 月 8 日～5 月 31 日

内容：万博に関連した資料展示



展示タイトル：浮世絵～名絵師たちに描かれたものごと～

会期：2025 年 6 月 2 日～7 月 5 日

内容：浮世絵に関する展示図録を中心に展示



展示タイトル：七夕関連貴重書展示

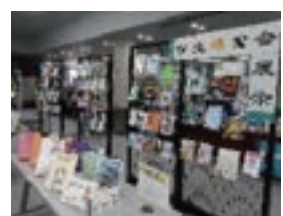
会期：2025 年 6 月 16 日～7 月 5 日

内容：貴重書『四季交加』を展示

展示タイトル：学生選書会展示

会期：2025 年 7 月 7 日～8 月 7 日

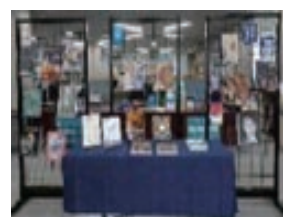
内容：学生選書会（店頭選書会）で学生が選んだ資料の展示



展示タイトル：『洋書』

会期：2025 年 8 月 18 日～9 月 27 日

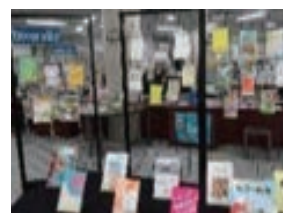
内容：コーヒーテーブルブックの展示



展示タイトル：Diversity ～他者との共生～

会期：2025 年 11 月 4 日～11 月 22 日

内容：「他者との共生」関連資料展示



展示タイトル：本屋大賞 2026

会期：2026 年 2 月 6 日～4 月 30 日

内容：本屋大賞受賞作品展示

統計

■基本統計：2025 年度データ

開館日数	平日 (短縮開館含む)	231
	土曜日	34
	合計	265
入館者数	学生	53,154
	教職員	6,777
	学外者	4,452
	合計	64,383
図書 貸出冊数	学生	14,954
	教職員	3,525
	学外者	1,761
	合計	20,240
雑誌 貸出冊数	学生	385
	教職員	361
	学外者	301
	合計	1,047
録音資料 貸出点数	学生	486
	教職員	418
	学外者	195
	合計	1,099

蔵書冊数	和漢書		201,179
	洋書		50,544
	合計		251,723
図 書 受入冊数	和漢書	購入	1,958
		製本	214
		寄贈	387
		計	2,559
	洋書	購入	260
		製本	155
		寄贈	26
		計	441
	合計		3,000
	雑 誌 所蔵種類数	和雑誌	
洋雑誌		355	
合計		910	
雑 誌 受入種類数	和雑誌	購入	247
		寄贈	7
		計	254
	洋雑誌	購入	35
		寄贈	0
		計	35
	合計		289

■学生・教職員数

学生数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生総数	4,284	4,770	4,983	4,926	4,874
学部生	3,662	3,985	4,117	4,099	4,040
院生	125	125	136	136	118
教職員	497	660	730	691	716

■入館者数

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
開館日数	261	267	265	265	265
総入館者数	28,283	38,362	56,667	65,365	64,383
学生	22,583	33,065	48,036	54,949	53,154
教職員	5,700	5,297	5,022	5,745	6,777
一般利用者	0	0	3,609	4,671	4,452

■貸出冊数・点数

図書	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総貸出冊数	21,224	18,477	22,155	21,558	20,240
学生	18,281	16,362	16,896	16,129	14,954
教職員	2,943	2,115	3,405	3,369	3,525
一般利用者	0	0	1,854	2,060	1,761

雑誌	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総貸出冊数	351	1,092	1,225	1,251	1,047
学生	229	728	621	546	385
教職員	122	364	263	309	361
一般利用者	0	0	341	396	301

録音資料	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総貸出点数	1,181	604	1,818	2,182	1,099
学生	983	454	971	585	486
教職員	198	150	283	1,221	418
一般利用者	0	0	564	376	195

■ILL（相互利用）件数

文献複写依頼	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	327	205	437	496	310
学生	69	55	102	126	71
教職員	258	150	335	370	239

文献複写受付	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	148	73	80	84	60
大学	144	70	78	80	58
その他機関	4	3	2	4	2

図書現物借受	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	65	46	47	51	57
学生	30	15	20	25	48
教職員	35	31	27	26	9

図書現物貸出	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	68	60	59	51	30
大学	55	50	48	41	26
その他機関	13	10	11	10	4

■ レファレンス件数

レファレンス件数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	5	6	4	5	1
学生	3	4	1	3	0
教職員	2	2	3	0	1
一般	0	0	0	2	0

クイックレファレンス件数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総件数	91	284	707	590	533
学生	89	271	559	514	421
教職員	2	12	48	27	35
一般	0	1	100	49	77
所蔵調査	4	15	20	28	58
事項調査	19	16	13	14	22
利用指導	68	253	674	548	453

■ 電子ジャーナル

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Taylor&Francis	44	18	34	43	52
JSTOR	0	0	3,241	5,357	2,996
ProQuest	0	44	63	99	476
Wiley Online Library	12	12	22	26	117

■ 電子書籍

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
EBSCOhost eBook Collection	6	0	11	3	28
Maruzen eBook Library	1,676	192	270	496	131
KinoDen	69	24	101	135	130

■ データベース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Japan knowledge Lib	0	0	2,705	6,136	10,830
Magazine Plus	99	177	273	152	166
朝日新聞クロスサーチ	1,347	1,728	2,570	1,601	972
読売新聞ヨミダス	306	744	252	274	327
日経テレコン	2	3	5	0	55
日本文学Web	263	261	588	335	362



Welcome to
Library and Information Center

2026 年 10月発行

京 都 精 華 大 学 情 報 館

TEL : 075-702-5137 FAX:075-723-1505
URL : <https://johokan.kyoto-seika.ac.jp/>